

## 検査情報月報 7月号 ▶ 概要版 ◀



▶ 横浜市衛生研究所では、所内で実施した試験検査などの結果に解説を加えて、検査情報月報を発行しています。



### レジオネラ属菌の検査結果（令和3年度）

- ▶ レジオネラ属菌は湖沼の水や土の中に生息する常在菌で、土埃などで運ばれて水景設備や冷却塔、浴場施設などの人工的な水環境下でアメーバを介して増殖します。このレジオネラ属菌によって汚染された水のエアロゾルを人が吸い込んだり、汚染水を誤えんしたりすると感染する可能性があります。
- ▶ レジオネラ症の発生・拡大を防止するには、原因施設を特定し、殺菌消毒することが重要です。患者の行動調査で利用施設を聞き取り、施設の水や水回りのふき取り検体を採取して、検査を行い感染源を特定します。

**主な結果** ▶ 患者宅や高齢者福祉施設など延べ32施設、195検体（水検体91、ふきとり検体104）の検査を行いました。▶ **LAMP法で遺伝子が検出されたのは延べ15施設、33検体**で、**培養法で菌が検出されたのは11施設、24検体**でした。▶ このうち、環境から分離された菌株と患者から分離された菌株が、パルスフィールドゲル電気泳動法による分子疫学的解析において一致した事例が1事例ありました。

### 遊泳用プール水の水質検査結果（令和3年度）

- ▶ 遊泳用プールの衛生水準を確保し、利用者が快適で安全に遊泳できるように、国の指針に基づいた神奈川県条例・規則に則り、水質検査を行っています。令和3年度は屋内プール1施設、屋外プール1施設の水質検査を行いました。
- ▶ 遊泳用プールがより快適なプール水質となるよう新鮮な補給水量を増やし、浄化能力を維持した浄化設備の適正な運転管理が求められています。

**主な結果** ▶ 利用者から保健所に「濁りがあり視界が悪い」と相談があった屋内プールの検査では、**遊泳用プール水質基準を超過した項目はありません**でした。しかし、TOCの値と凝集剤の成分であるアルミニウムの値から浄化能力の低下が推定されました。▶ 屋外プールの検査では、**遊泳用プール水質基準・暫定目標値を超過した項目はありません**でした。

### 横浜市衛生研究所WEBページ情報（令和4年6月）

- ▶ 衛生研究所は保健所と連携しながら、科学的・技術的支援機関として、市民生活に密着した健康・安全・安心に関する試験検査や調査研究を実施しています。また、これらの業務で得られた感染症、保健、食品衛生、生活環境衛生、薬事に関連する情報を、WEB ページなどで公開しています。

**主な結果** ▶ アクセス順位1位は、「**水痘(水疱瘡)・带状疱疹について**」でした。